

平成28年度会議の協議結果に基づく取組の進捗状況（報告）

- 平成28年度テーマ
未来を担う子どもたちの健全な育成に向けて
（子どもを育む学校・家庭・地域の連携）

- 協議結果における今後県が取り組んでいく施策の方向性
 - ① 子育て中の保護者に対する社会的支援
 - ② 親の学びや親子の絆を深める機会の提供などによる家庭教育の支援
 - ③ 子どもたちに向けた親の役割等を学ぶ教育の推進
 - ④ 学校における地域の教育力の活用
 - ⑤ 地域を舞台とした子どもたち向けの支援
 - ⑥ 子どもたちの成長に関わる人材の育成と活用

- 新規取組の進捗状況
 - （1）市町村による「家庭教育支援チーム」設置支援に係る検討（施策の方向性①）

家庭教育や子育てに関する相談対応を始め、親子で参加する様々な取組や講座などの学習機会の提供、地域の情報提供等を行う家庭教育支援チームの運営費について助成する「家庭教育支援チーム設置推進事業」を新規に取り組んでいく。
この事業は、国の補助事業で、国、県、実施市町村が1／3ずつ事業費を負担する。
家庭教育支援チームの設置を検討している市町村に、事業内容を説明し、設置支援に当たっている。

 - （2）自然体験活動を通じて親子の絆を深める施策の検討（施策の方向性②）

5箇所すべての県立青少年教育施設において、「親子のふれあい」「親子の絆」「親同士のコミュニケーション」をキーワードに、各指定管理者の主催事業として一泊二日の事業を展開する。
各青少年教育施設の特徴を生かしながら、自然の中で、テント張り、火おこし、水のろ過や野外炊飯など、複数の親子が協働でチャレンジすることによって、親子の絆や親同士のコミュニケーションづくりに寄与する。

 - （3）教育に関する大学・短期大学等と地域との連携に係る研究・検討（施策の方向性⑤）

先進的な取組を行っている四街道市の事業を対象に、モデル的な研究・検討を進めている。四街道市においては、子どもたちに学習支援などを行う学生の安定した人材確保が課題となっている。四街道市近隣や、教員志望の学生が多く在籍する大学に県から説明及び協力の依頼に出向いた結果、新規学生の事業参加につながっているところ。
今後、先進自治体の課題等を踏まえ、全県ベースでの施策展開を図るために、県内市町村、県内大学・短期大学に対する説明、アンケート調査などを実施し、双方の連携可能性の調査を進めていく予定。